

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	同援はいじま保育園
施設所在地	東京都昭島市松原町5-2-25
法人名	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然～身近な生きもの～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・身近な自然に触れ探求を深める中で、慈しむ心を育てるため
- ・園周辺に公園が多くあり、探究活動を行う環境が整っているため
- ・散歩先で虫探しを楽しむ姿が見られるため

2. 活動スケジュール

- ・カブトムシを育てる
- ・成長過程を観察したり描いたりする
- ・電子顕微鏡を用い、細部を観察する
- ・電子顕微鏡を持って公園内の自然物を観察する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・カブトムシの生育に詳しい方を招き、カブトムシハウスづくりを行う(ペットボトル・OPPテープ・土・幼虫)
- ・日々観察しやすいよう保育室にカブトムシハウスを設置、図鑑を用意する
- ・観察のために、電子顕微鏡・電子黒板・iPadを用意・使用する

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・カブトムシハウスを作る(愛着を持つ)
- ・成虫になるまでの観察・世話をする(興味を持つ)
- ・電子顕微鏡と電子黒板を使用し観察をする(興味を広げる)
- ・図鑑やiPadを使用し調べる(探求心を育てる)
- ・他の自然物に興味を持ち公園などで観察する(探求心を広げる)
- ・身の回りにあるもの(衣服・自分の体・遊具など)に興味を持ち観察する(新たな疑問の発見・探求)

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・虫に対して「気持ち悪い」という声もあったが、観察を続ける中で「可愛い」「ぼくのカブトムシ」などと愛着を抱いている姿に変わっていった。見たら「逃げるもの」から、「じっくり観察するもの」へと見方が変化していった。また、「なんで透明の部分があるの?」「どうしてこんな動きをするの?」と疑問を抱き、図鑑やiPadで調べる様子も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・自然物に対する興味の持ち方が日々変化している様子を間近に感じた。興味の移ろいは早い一方で、継続して楽しめる環境さえあれば追及していく豊かな感性が秘められていることに改めて気づいた。ただ「すごい」と感嘆するだけでなく、なぜ? どうして? と次々に湧き出る疑問と、それらの答えを自分なりに発見したその先に、新たな疑問や発見が生まれていく姿に、子どもたちの探求心と力強さを垣間見て感動した。